

第3章

まちづくりの方向性（上位・関連計画の整理）

3. まちづくりの方向性（上位・関連計画の整理）

本市の上位・関連計画をもとに、公共交通の関係及び公共交通に求められる役割について、下記に整理します。

- ・本市では、「福岡駅周辺地区」を中心拠点、「津屋崎地区」と「東福岡駅周辺地区」を地域拠点として位置付けています。
- ・市内交通体系の再構築に向けて、持続可能な地域公共交通網の形成を掲げています。
- ・具体的には、公共バス路線の再編と各拠点や市内各地を結ぶ公共交通網の強化を目指し、「福津市地域公共交通網形成計画」の策定やミニバス路線の見直し、観光スポット等への交通アクセスの確保等を掲げています。

上位・関連計画	目標・方針、都市構造	拠点形成	交通軸形成・交通体系構築	その他（ネットワーク形成、地域振興等）
福岡都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	・“拠点を中心とした都市づくり”から“ 拠点と公共交通軸による集約型の都市づくり ”へ拡充	●広域拠点： J R福岡駅周辺 ●拠点： 福津市役所津屋崎庁舎周辺	●基幹公共交通軸： J R鹿児島本線 ●公共交通軸： J R赤間駅周辺－J R博多駅/西鉄福岡（天神）駅周辺	<<道路>> ・主要幹線道路及び区域内の 広域拠点、拠点間を結ぶ公共交通軸 などの幹線道路を適切に配置した道路ネットワークの形成 ・主要駅において駅前広場や街路を整備し交通結節機能の強化（公共交通機関相互の連携） <<鉄道>> ・鉄道について、路線バスなど 他の公共交通や自動車交通との連携強化 を促進
福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略	①地域資源を生かした魅力あるしごとづくり ②地域の活力と賑わいのあるまちづくり ③安心して出産・子育てができるまちづくり	—	● 市内交通体系の再構築 ⇒ 日常生活等に必要不可欠な交通手段の確保、まちづくりの観点からの交通施策の促進、関係者相互間の連携と共働の促進など、 持続可能な地域公共交通網 の形成 ● 公共バス路線の再編 ⇒ 地域住民、観光客の移動の利便性を高めるための地域交通体系の整備 ⇒ J R福岡駅を基点として、市内地域拠点 と結び、市内各地の 集落や住宅団地、観光拠点と結ぶバス路線 の検討や J R福岡駅の拠点機能をさらに充実 等	・地域資源を活用した 観光の振興 ⇒ 「食の街道」事業の推進 ⇒ 「新原・奴山古墳群」の活用 ⇒ 津屋崎千軒の観光活性化

上位・ 関連計画	目標・ 方針、都市構造	拠点形成	交通軸形成 ・交通体系構築	その他（ネットワーク形成、 地域振興 等）
第2次 福津市 都市計画 マスター プラン	①定住人口の維持・増加 ②3拠点の機能充実による自然体の活性化 ③観光資源の機能強化による経済活性化 ④市内各地を結ぶ道路交通網・公共交通網の強化 ⑤安全・安心・快適に暮らせるまちづくり	●中心拠点：福間 駅周辺地区 ●地域拠点： 津屋崎地区 東福間駅周辺地区	●「福津市地域公共交通網形成計画」の策定及びミニバス路線の見直し ⇒ 交通事業者等と連携・役割分担しつつ、中心拠点・地域拠点と市内各地の集落や開発団地を結ぶふくつミニバスの運行経路等を見直し、バス路線を拡充 ●JR福間駅及び駅前広場の充実 ●円滑な自動車交通を確保するために道路交通網を形成 ●観光スポット及び観光交流ゾーンを繋ぐ交通アクセスの確保 ●他都市と市とを結ぶ道路ネットワークの充実	

